

環境マネジメント (ISO14001) の取り組み

2004年1月に本社事務所がISO14001を認証取得し、その後関東事務所・山静事務所・北陸事務所がそれぞれ本部として認証取得しました。2008年2月、本社が各本部を統合し、組織変更を行いました。さらに同年8月にユースタを合併し、組織変更・拡大を図りました。

また2004年から2009年まで審査機関はオリオン・レジストラ・ジャパンでしたが、2010年1月から審査登録機関を株式会社日本環境認証機構（JACO）にお願いしています。



サーバランス審査



サーバランス部門審査



産業廃棄物保管状況審査



環境目的目標にエコ・ファーストの約束を設定

環境マネジメントの目的目標については、各部門ごとに業務の環境影響調査を行い、環境側面を抽出し、影響の重大なものを改善するよう環境実施計画を策定しています。

さらに、エコ・ファースト企業としての高い環境目標を掲げている「エコ・ファーストの約束」を果たすために、環境実施計画に以下のことを組み込みました。

- 食品リサイクルの推進
- 容器包装の削減とリサイクル推進
- 環境教育の実施
- 環境配慮商品の開発および販売拡大
- エコストアの建設



ゴミ0運動いなざわ

継続的な環境目的目標

- 省エネ活動……空調温度規制・照明の個別管理・クールビズ・ウォームビズ
- 省資源……コピー用紙使用削減
- 廃棄物の削減とリサイクル推進
- 本社周辺の清掃活動

緊急事態への対応

環境影響で重大なものに災害があります。2011年の東日本大震災レベルの災害が東海地方に起きることを想定し、防災訓練を計画し、実施しました。



地震および津波の避難訓練



防災訓練（グループ会社合同）

ISO14001推進のための社員教育

環境方針・環境目的目標や環境マネジメントシステムの理解を深め、環境活動を実践していくために、適用範囲の全従業員と関係する人々に教育を行いました。

また、環境マネジメントシステムが規格に適合しているか、有効に機能しているか、コンプライアンスを確保しているかどうかを監査する内部監査員養成研修を開催し、現在までに資格取得者は221人になりました。



内部監査員研修



本社集合教育

「地震対応ガイドライン」の改訂

東日本大震災を教訓に、震災マニュアル「地震対応ガイドライン」を全面的に改訂しました。また、各店舗・事業所で実施している震災・消防訓練とは別に、

- 被災を想定した各店舗、事業所の施設点検演習
- システムを使った店舗被災情報の集約演習
- 社内緊急メールの配信演習

などを組み入れた全社規模の演習（震災総合演習）を半年ごとに実施し、災害に備えています。特に店舗は地域との防災協定を結んでいるので、避難場所として頼りになる存在となるよう努めます。

総務部（防災担当）
佐野彰彦